

IV. 普及・公開活動の記録

平成30年度埋蔵文化財展等の活動について

1 概要

2019年4月施行の文化財保護法改正に向けて、文化財の活用が求められている。愛知県埋蔵文化財センターは、発掘調査した成果を広く県民に公開活用するための一環として、埋蔵文化財展をはじめ様々な普及事業を実施している。

2018年度は、4月に「やとみ新発見展！2018」&春の特別公開を県調査センターと共催した。9月から10月にかけて清須市主催『きよす歴史フェア』の関連事業として、「板にこめた想い」と「埋蔵市民大学inきよす」、また『きよす歴史フェア』当日は、ワークショップなどを実施した。

2 春の埋蔵文化財展「やとみ新発見展！2018」&春の特別公開

- (1) 会場：愛知県埋蔵文化財調査センター
 - (2) 会期：平成30年4月4日（水）から13日（金）
 - (3) 内容
- 埋文桜ニュース発行



▲桜ニュース



春の埋文展 入り口



キネクトゲーム



収蔵庫C 見学の様子



ツボ釣り

○展示

2階収蔵庫C

「やとみ新発見展！2018」

「食と文化の考古学 煮炊きの道具の変遷」

2階資料管理閲覧室

「石の道具の歴史」展

配布資料：埋文桜ニュース（遺跡の概要説明＋春の特別公開解説＋本年度イベント案内）

（4）考古楽縁日

弥富市社会教育センター（弥富市主催）で開催した「やとみ春まつり」に合わせて4月7日（土）・8日（日）はワークショップの一環として、キネクトゲーム・ツボ釣りを実施した。

○キネクトゲーム：参加者数242名（2日間）

○ツボ釣り：参加者数382名（2日間）

（5）その他

期間中、県埋蔵文化財調査センターは春の特別公開として朝日遺跡出土品から国の重要文化財を4点展示した。また、考古楽縁日当日は輪投げと火起こしマスターを実施した。入館者数は縁日当日が563名、縁日以外の日が210名。



▲秋の埋蔵文化財展 ちらし

3 秋の埋蔵文化財展

『きよす歴史フェア』関連事業

（1）関連事業1 秋の埋蔵文化財展

「板にこめた想い」こけら経と清洲城下町遺跡

会場：清須市歴史資料展示室（清須市図書館）

会期：9月15日（土）から12月16日（日）

内容：清須市教育委員会と共催。平成29年度までに保存処理が終了した清洲城下町遺跡の柿経、塔婆、位牌を中心に展示。

その他：会期中に展示解説を9月17日（月・祝）と12月1日（土）、両日ともに午前11時からと午後2時からの2回開催。

入場者数：のべ4,354名（展示解説：計30名）

（2）関連事業2 「埋文市民大学inきよす」

会場：清須市清洲市民センター307研修室

会期：11月10日（土）「弥生の日」

11月11日（日）「戦国の日」

両日とも午前と午後の2回実施。

清須市内の遺跡出土品を用いた講座と



歴史講談



トークイベント

ワークショップ(詳細は後述)。

(3)「きよす歴史フェア」参画事業

会場：清須市清洲市民センター

会期：10月20日(土)・21日(土)

内容と参加者数：キネクトゲーム(217名)、
銅鐸鑄込み体験(120名)

(4)「きよす歴史フェア」

愛知県教委・清須市教委主催事業

・県教育委員会主催事業



鑄込み体験



鑄込み体験

○朝日遺跡弥生生活体験講座

「Dokiドキ朝日遺跡弥生体験」

内容：火起こし、勾玉づくり、土器作りのワークショップ

○朝日遺跡サポーターによるワークショップ

内容：拓本と缶バッジ製作のワークショップ

○朝日遺跡PRパネル展示

・清須市教育委員会主催事業

○旭堂南海 きよす歴史講談

20日(土) 午後1時半から

内容：清須市芸術劇場にて講談師旭堂南海氏による歴史講談「朝日銅鐸発掘物語」・「信長講談」とトークイベントを実施(参加者150名)。

○清須市ワークショップ

内容：弥生人なりきり体験と写真撮影、弥生アクセサリー作り

以上、きよす歴史フェアに関連するイベントの参加者総数は1,873名であった。



鑄込み体験



キネクトゲーム



清須市 やよいアクセサリー作り

秋の埋蔵文化財展 『きよす歴史フェア』関連事業2 「埋文市民大学inきよす」について

「埋文市民大学」は考古学の「研究を体験する」ワークショップとして、昨年度から開催している。講師によるレクチャーを最小限とし、与えられたテーマについて、参加者全員が実際の遺物に触れ、観察し、考察し、自由な討論を行うものである。本年度は、秋の埋蔵文化財展の関連事業として開催した。

会場：清須市清洲市民センター307研修

会期：11月10日(土)「弥生の日」・11月11日(日)「戦国の日」 両日とも午前と午後の2回実施。

○弥生の日 平成30年11月10日(土曜日) 参加者：17名(午前14名、午後3名)

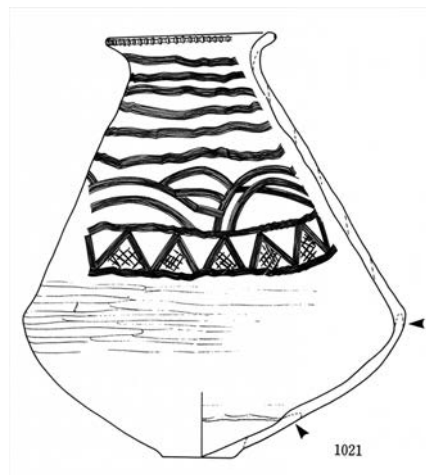
弥生の日は、清須市に所在する朝日遺跡、廻間遺跡と隣接するあま市に所在する阿弥陀寺遺跡、その他に月縄手遺跡、麻生田大橋遺跡の弥生土器を17点持参し、市民大学を実施した。テーマは2つ用意した。前半のテーマは、弥生土器12点の『時期』。実物を15分程観察した後、各自の基準により弥生土器の時期区分の基準を考えた。その基準は、土器の色調や器壁の厚さ、胎土の粒度などにおよび、多様な分類案が発表された。また後半のテーマは弥生土器の『美しさ』とした。参加者各自で「美しい(お気に入り)」の土器を選び、その「美しさの評価」(参加者が採取して良いドングリの数量で表現した)とその理由を考えて頂いた。そして選択した弥生土器の「美しさ」を各自でピーアールし、参加者どうしで巴型銅器のシール(各参加者3票)で投票を行った。「美しさ」のピーアールでは、全て美しいという意見や、土器の形の安定性や外形のラインの良さ、施文方法から見た文様の緻密さ、土器の色調(赤色)の美しさ、文様表現の自由・奔放性、文様の位置とその強調性、文様に見る物語性、土器の機能性などに重点が置かれていた。その後、参加者どうしの自由な意見交換が行われた。

○戦国の日 平成30年11月11日(日曜日) 参加者：13名(午前9名、午後4名)

参加者には清洲城下町遺跡出土品の土器・陶磁器類の『分類』について、実際に手に取って観察してもらいながらグループごとに自由な視点で考えていただいた。「分類」については、形態や材質、使い方、国内・国外の産地、使用者の階層を想定したものなど様々な「分類」が発表された。自由な意見や感想を交えながら、「清須」の町で暮らした戦国時代の人々について、具体的にイメージしてもらう機会となった。



「美しさ」をテーマに観察された阿弥陀寺遺跡出土の太頸壺



第11集 阿弥陀寺遺跡 (1990年発行)より

*この土器の表面にある文様から、「空があり、山があり、田園風景があり、とてもどかな風景が描かれているので、『美しい。』」との意見をいただいた。



市民大学 弥生の日



市民大学 弥生の日



市民大学 弥生の日



市民大学 弥生の日



市民大学 戦国の日



市民大学 戦国の日



市民大学 戦国の日



市民大学 戦国の日

バックヤードツアーと考古学体験

目的：当センターの事業の紹介し、埋蔵文化財の調査について理解を深める。

場所：愛知県埋蔵文化財調査センター

日時：10月26日（金）、11月2日（金）

両日とも午前10時30分よりバックヤードツアー、午後1時より考古学体験。

参加費は無料、事前申し込みを行ったが、当日参加も可能とした。

参加者数：10月26日（金）：バックヤードツアー 8名、考古学体験 9名

11月 2日（金）：バックヤードツアー 未開催、考古学体験 4名

午前に開催するバックヤードツアーは10月26日（金）のみ実施。ツアーでは、遺跡の発掘調査現場から整理作業に移る仕事の流れと、午後からの土器・陶磁器の接合の考古学体験を意識した館案内を行い、最後に常設展の展示解説を行った。

午後からの考古学体験は、10月26日（金）が土器・陶磁器の遺物接合体験、11月2日（金）が遺物の写真撮影を行った。土器・陶磁器の接合体験では、発掘調査が完了したばかりの清洲城下町遺跡の遺物についてチャレンジしていただいた。遺物の接合をしながら、清洲城下町遺跡の紹介や、接合している土器や陶磁器の解説を行った。最後に接合した土器や陶磁器との記念撮影を行い終了した。

遺物の写真撮影の体験では、朝日遺跡・阿弥陀寺遺跡・廻間遺跡・麻生田大橋遺跡・月繩手遺跡から出土した縄文時代晩期から古墳時代前期にかけての弥生土器・縄文土器・古式土師器24点を撮影用の土器として準備した。土器と写真撮影の方法について解説をしながら、参加者の撮影したい土器を1点選び、まず単品で写真撮影を各自で行った。その後参加者の方が別に選んだ土器を1点ずつ持ち寄り、集合写真を撮影した。集合写真では、最後に撮影する方は、土器のポーズを変える工夫もされていた。



バックヤードツアーa: 写場の見学



バックヤードb: 遺物整理室の見学



考古学体験a: 遺物の接合体験



考古学体験b: 集合写真の撮影

第7回 考古学セミナー「あいちの考古学2018」の記録

概要:考古学セミナー「あいちの考古学」は、愛知県内および近隣地域で活動する県・市町村教育委員会、公益財団法人、大学、特定非営利活動法人(NPO)、研究グループ、関連企業などが一堂に会して遺跡調査と考古学に関係する研究成果を広く一般に公開し情報を共有することを目的に、平成24年度より開催している。名古屋市博物館が会場となって5年目となる今回も継続参加者を含む多数の来場者で賑わった。

主催:名古屋市博物館・愛知県埋蔵文化財センター

日時:平成 30年11月17日(土) 午後1時から午後4時20分

11月18日(日) 午前10時から午後3時30分

会場:名古屋市博物館 講堂・展示説明室

参加者数:11月17日(土)111名、11月18日(日)193名、合計304名

出展団体・個人:プレゼンテーション10、ポスターセッション17(エントリー制)

講演:中塚 武(名古屋大学大学院環境学研究科/総合地球環境学研究所 教授)

セッション:原田 幹(愛知県教育委員会)ほか3名

配布資料:『あいちの考古学2018』400部(無償配布)

◎11月17日(土) 午後1時から午後4時20分

<プレゼンテーション>

13:10～13:30「敷き詰められた山茶碗～大府市 上入道古窯発掘調査～」白樫 淳(株式会社アコード)

13:30～13:50「古城山窯跡第2次発掘調査報告」高野夏姫(愛知学院大学大学院文学研究科)

13:50～14:10「愛知県新城市萩平遺跡A地点隣接地第6次調査の成果」

野村啓輔(愛知学院大学大学院文学研究科)

14:50～15:10「古代寺院の基壇外装」石原 唯(豊橋市文化財センター)

15:10～15:30「尾張国・三河国における陶硯の使用状況」井上隼多(名古屋大学大学院人文学研究科)

15:40～16:00「史跡貝殻山貝塚の調査成果」成瀬友弘(愛知県埋蔵文化財調査センター)

16:00～16:20「東海地方を中心とした縄文時代草創期の編年」田中 良(愛知県埋蔵文化財センター)

◎12月3日(日) 午前10時から午後4時

<プレゼンテーション>

10:10～10:30「犬山焼にみる『仙境図大皿』を読み解く」佐久間真子(愛知県陶磁美術館)

10:30～10:50「吉田城址の確認調査について」中川 永(豊橋市文化財センター)

10:50～11:10「三重県四日市市 国史跡 久留倍官衙遺跡公園」清水政宏(四日市市教育委員会)

<セッション主旨説明>

12:30～12:40趣旨説明 樋上 昇(愛知県埋蔵文化財センター)

<講演>

12:40～13:40「日本史の命運を左右した気候変動—樹木年輪の酸素同位体比が語るもの—」

中塚 武(名古屋大学大学院環境学研究科/総合地球環境学研究所)

<セッション>

13:40～14:00基調報告1「朝日遺跡の変遷」原田 幹(愛知県教育委員会)

14:00～14:20基調報告2「西志賀遺跡とその周辺」永井宏幸(愛知県埋蔵文化財センター)

14:20～14:40基調報告3「名古屋台地の弥生時代集落—高蔵遺跡・見晴台遺跡を中心に—」

酒井将史(名古屋市教育委員会)

14:40～15:30パネルディスカッション

<ポスターセッション・出版物案内>(11月17日・18日開催)

(1)「設楽ダム事業に伴う発掘調査2018」愛知県埋蔵文化財センター

(2)「赤日子遺跡の出土遺物」松田 繁(蒲郡市博物館)

(3)「桜佐下五反田遺跡について」銅坂有紗(春日井市教育委員会)

(4)「尾北窯出土の白瓷の基礎的研究」大西 遼(愛知県陶磁美術館)

(5)「平成29年度畑間・東畑遺跡の発掘調査成果について」宮澤浩司(東海市教育委員会)

(6)「安城市指定史跡 塚越古墳の発掘調査成果について」川崎みどり(安城市埋蔵文化財センター)

(7)「鈴鹿市上箕田遺跡の絵画土器」吉田真由美(鈴鹿市考古博物館)

(8)「犬山焼にみる『仙境図大皿』を読み解く」

犬山焼ミュージアム(青木修 井上あゆこ 佐久間真子 中野耕司 鈴木智恵 安藤 悟)

(9)「入鹿切れから150年,その被害を再考する」大塚友恵(NPO 法人ニワ里ねっと)

(10)「2018年度 豊田市伊保古瓦出土地(伊保白鳳寺)の発掘調査」

林 順(名古屋大学大学院人文学研究科)

(11)「敷き詰められた山茶碗～大府市 上入道古窯発掘調査～」白樫 淳(株式会社アコード)

(12)「土器圧痕レプリカ ワークショップ」小林克也(株式会社パレオ・ラボ)

(13)「物の形の意味を探る—民具における樹種と構造計算からの検討と出土遺物への応用—」

高橋 敦(株式会社 古生態研究所) 久保光徳(千葉大学) 桃井宏和(元興寺文化財研究所)

(14)「デジタルカメラを使用した3Dモデル作成と文化財実測への活用」加藤 達(株式会社 CUBIC)

(15)「文化財カード『v.式カード』の制作と今後の展望について」

西村誠治(ナカシャクリエティブ株式会社) 赤塚次郎(NPO 法人ニワ里ねっと)

植木 萌(ナカシャクリエティブ株式会社)

(16)愛知県 県史編さん室『愛知県史』のご案内

(17)考古学フォーラム「考古学フォーラムのご案内」



プレゼンテーション風景



ポスターセッション風景

